

マース  
下田MaaS 令和5年度実証運行の内容(案)について



— Snow Peak FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS —  
(三条市中野原)

# 下田MaaS令和5年度実証運行の内容(案)について

## 1 趣旨

下田地区を運行する路線バス（八木ヶ鼻温泉線・福沢線）は、通勤・通学時の利用は多いが、日中の利用が少なく、また、令和5年度から新たに運行事業者による減便も実施された。しかし、令和4年4月にスノーピーク複合型リゾート施設（中野原地内）がオープンし、市内外から注目を集めるとともに、これまで当市を訪れたことがない方々から、自家用車以外の新たな公共交通サービスの整備を求める声も増えている。これらのことから、地域住民や観光客、来訪者が利用できる新たな下田地区への移動手段を確保するため、令和4年度新潟県の「地域資源の有効活用に関する調査」を実施した調査結果を踏まえ、令和5年度に地域交通資源を有効活用したMaaS実証運行の内容を協議するもの

## 2 運行概要(案)

路線名	「燕三条・下田 Outdoor Liner（アウトドアライナー）」																									
想定の利用者	スノーピークほか観光施設を利用する来訪者、下田地区住民の日常利用（買い物、通院、帰宅時など）																									
運賃	<p>既存の路線バスへの影響を考慮しつつ、高岡・長沢駅跡までの運賃は路線バス運賃に快速料金として100円を追加設定 ＜運賃区分(案)＞</p> <table border="1"><tr><td>燕三条駅</td><td colspan="3">燕三条駅⇨東三条駅間の移動では下車できないこととする</td><td>(他路線の定期券利用時 + 100円)</td></tr><tr><td>—</td><td>東三条駅</td><td>ひめさゆりパーク(高岡)</td><td>長沢駅跡</td><td>スノーピーク</td></tr><tr><td>430円</td><td>380円</td><td>280円</td><td>230円</td><td>小児(小学生以下)半額</td></tr><tr><td>520円</td><td>470円</td><td>410円</td><td></td><td></td></tr><tr><td>650円</td><td>600円</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>【検討中する利用促進キャンペーン】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) スノーピークスパ入館料（1,600円）とセット価格でバス往復利用の割引</li><li>(2) 旅行事業者の販売スキームでの鉄道運賃とのセット販売でのバス往復利用の割引</li><li>(3) 初年度利用キャンペーン：協賛企業のアプリや紙でのスタンプラリー、抽選プレゼント</li><li>(4) 既存路線バスを含めたスタンプラリー、抽選プレゼント等</li></ol>	燕三条駅	燕三条駅⇨東三条駅間の移動では下車できないこととする			(他路線の定期券利用時 + 100円)	—	東三条駅	ひめさゆりパーク(高岡)	長沢駅跡	スノーピーク	430円	380円	280円	230円	小児(小学生以下)半額	520円	470円	410円			650円	600円			
燕三条駅	燕三条駅⇨東三条駅間の移動では下車できないこととする			(他路線の定期券利用時 + 100円)																						
—	東三条駅	ひめさゆりパーク(高岡)	長沢駅跡	スノーピーク																						
430円	380円	280円	230円	小児(小学生以下)半額																						
520円	470円	410円																								
650円	600円																									
運行事業者／車両	越後交通(株)／中型バス(28名程度乗車)の使用を想定  越後交通(株)持込み車両を使用																									
運行開始／運行方式	令和5年10月1日(日)から毎日運行（予定）／「貸切乗合」方式で運輸局へ申請 →「乗合」方式だと既存のバス路線と競合する可能性があり、許可までに時間を要するため、まずは道路運送法第21条に基づく貸切乗合実証の方式で、運輸局に運行事業者から申請したい。（9、10ページ参照）																									
運行委託経費	12,265千円（税込）→内訳はP.3参照																									
MaaS的要素	【実施検討】旅行事業者の決済サービス利用、地元観光関連施設の送迎サービス・保有バスの活用、デマンド交通との連携																									

# 下田MaaS令和5年度実証運行の内容(案)について

## 3 運行経路(案)



### 【路線】

燕三条駅～東三条駅～ひめさゆりパーク(高岡)～  
長沢駅跡～Snow Peak FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS

### 【所要時間】

約45分

### 【考え方】

- 東三条駅から長沢駅跡は、現在のバス路線と同様の経路を基本としているが、停車地を各乗継ぎ拠点に限定し、燕三条駅から終点までなるべく早く到着できるようにする。
- 八木ヶ鼻温泉線減便の影響を考慮し、19時頃の市街地方面から下田方面への帰途など地域住民の移動にも利便性が高く利用できるようにする。(以前は19:10東三条駅発が運行)
- 将来的には八木ヶ鼻温泉線の補完的役割を担うことも見据え、今後、八木ヶ鼻温泉方面への路線も別途検討する。

### 【参考】併行路線

循環バス燕三条ライン：大学・専門学校～東三条駅  
越後交通八木ヶ鼻温泉線：東三条駅～八木ヶ鼻温泉  
越後交通福沢線：長沢駅跡～福沢

※地図に記載されている各番号は経由地

### 【参考】既存路線の運賃

- ①燕三条駅～東三条駅 150円(燕三条ライン)
- ②東三条駅～ひめさゆりパーク(高岡) 280円(八木ヶ鼻温泉線)
- ③東三条駅～長沢駅跡 370円(八木ヶ鼻温泉線)
- ④ひめさゆりパーク(高岡)～長沢駅跡 180円(八木ヶ鼻温泉線)
- ⑤長沢駅跡～福沢(終点の現時点の最寄り) 230円(福沢線)

↓  
【目安】燕三条駅から終点 ①+③+⑤=750円  
東三条駅から終点 ③+⑤=600円

いい湯らてい等他施設の送迎バスを活用するなど運行経費を抑えた中で、八木ヶ鼻温泉方面への路線も令和6年度運行に向け別途協議・検討を進める。

Snow Peak FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS

# 下田MaaS令和5年度実証運行の内容(案)について

## 4-1 運行時刻表(案)・運行委託経費

- ・下田方面への帰途利用が多い⑤は、既存の路線バスと競合しない時間に設定
- ・来訪者のために新幹線あるいは在来線のダイヤを考慮して設定

Snow peak	長沢駅跡	ひめさゆりパーク(高岡)	東三条駅(※1)	燕三条駅	便	燕三条駅	東三条駅(※2)	ひめさゆりパーク(高岡)	長沢駅跡	Snow peak
					①	12:00	12:20	12:32	12:35	12:45
					②	14:45	15:05	15:17	15:20	15:30
15:45	15:55	15:58	16:10	16:30	③					
17:55	18:05	18:08	18:20	18:40	④					
					⑤	18:55	19:15	19:27	19:30	19:40

(※1) 降車のみ

(※2) 乗車のみ

<①~⑤：1日5便で運行した場合>

**運行委託経費：12,265千円(税込)** バス車内音声案内、車内運賃表、行先表示機等の機器類作成費用 187千円含む

**【負担内訳】地域公共交通協議会予算(市負担金) 4,000千円+企業協力金3,265千円、県負担金5,000千円**

(新潟県の地域交通資源の有効活用にかかる負担金を活用するとともに、協賛企業からの協力金を三条市地域公共交通協議会に入れて協議会から支出)

## 4-2 課題・方向性の整理

- ・平成23年度から、デマンド交通により市内全域の交通空白を解消してきたが、交通事業者による配車が困難なケースが生じたり、デマンド交通の行政負担が高額といった課題が顕在化
- ・下田地区の地形上すべてを路線バスでカバーすることは困難



- ・目指すべき地域公共交通体系の移動イメージの通り(令和5年3月協議会説明資料はP19参照)、移動需要が見込まれる市街地から下田地区の拠点施設までの幹線に補完的なバス路線を新設し、将来的には八木ヶ鼻温泉線の強化あるいは補完につながる動きに結びつけたい。
- ・今後、既存路線と棲み分けをした中で乗合方式で申請し直すことで、貸切乗合方式より運行経費を抑えることが可能

## 4-3 来年度以降の環境変化

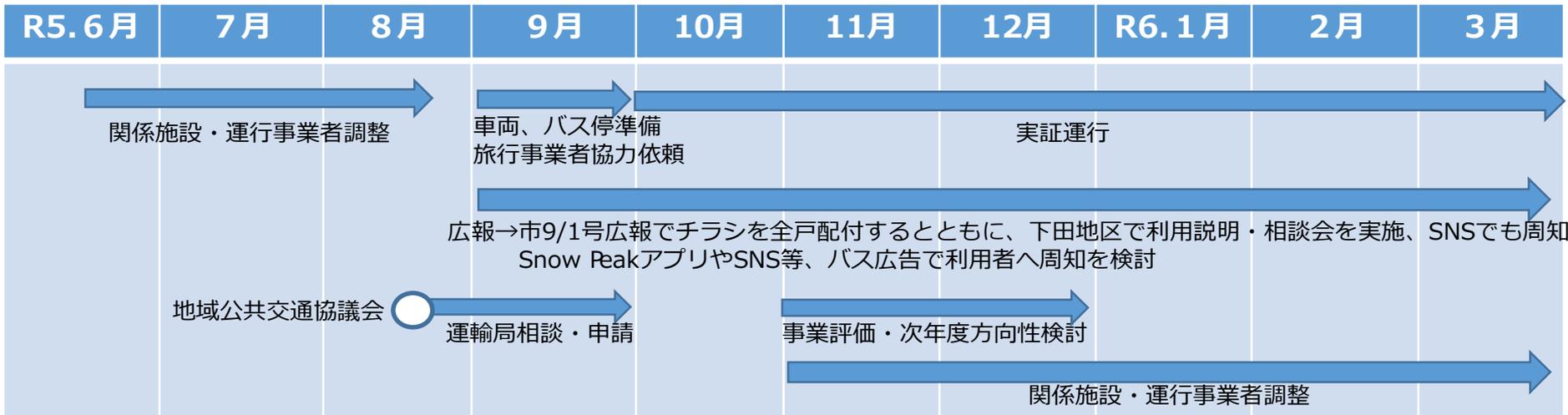
右記を踏まえ運行内容を見直し

- ・ AIオンデマンド交通システムの下田エリアへの導入拡大による乗継ぎにかかる利用環境の変化(資料No.3参照)
- ・ 乗り継ぎ拠点における待合環境の整備
- ・ 県負担金による継続支援要望 (ほか)

# 下田MaaS令和5年度実証運行の内容(案)について

## 5 スケジュール

12月頃までの運行の状況から、次年度の運行内容案をスノーピーク、他の観光事業者、県、越後交通と適宜調整(運行状況報告、次年度運行内容の確定、協力金ほか)



## 6 下田地区既存バス路線の時刻表、利用状況

### 八木ヶ鼻温泉線

東三条駅前～八木ヶ鼻温泉

令和5年4月1日改正

	県央工業 高校発	三条高校 発	東三条 駅前発	長沢駅前 発	八木ヶ鼻 温泉着	八木ヶ鼻 温泉発	長沢駅前 発	東三条 駅前着	三条高校 着	県央工業 高校着	
			7:20	7:40	8:00	6:35	6:55	7:15			
			◇ 8:15	8:35	8:55	◇ 7:15	7:35	7:55	8:05	8:10	ライナー
			◇ 9:35	9:55	10:15	8:15	8:35	8:55			
			◇ 10:25	10:45	11:05	10:20	10:40	11:00			
			12:30	12:50	13:10	◇ 11:25	11:45	12:05			
			13:30	13:50	14:10	13:15	13:35	13:55			
			16:10	16:30	16:50	15:05	15:25	15:45			
ライナー	16:55	17:00	◇ 17:10	17:30	17:50	17:30	17:50	18:10			
ライナー	18:00	18:05	18:15	18:35	18:55						
			◇ 20:00	20:20	20:40						

フ：下田庁舎前～八木ヶ鼻温泉間はお客様の申告により自由に降りることができます。

高校生通学ライナー(県央工業～東三条駅前)は土曜・日曜・祝日及び学校休校日は運休。(詳しくは三条市ホームページでご確認ください)

年/経路	東三条駅前～長沢駅前～ 八木ヶ鼻温泉
令和3年10月～令和4年9月	66,238人

### 福沢線

長沢駅前～福沢

長沢駅前 発	福沢 着	福沢 発	長沢駅前 着
17:30	17:55	7:00	7:25
18:35	19:00		

※土曜・日曜・祝日及び学校休校日は運休。(詳しくは、三条市ホームページでご確認ください)

### 高校生通学ライナー

東三条 駅前発	三条高校 発	県央工業 高校着	県央工業 高校発	三条高校 発	東三条 駅前着
7:55	8:05	8:10	16:55	17:00	17:10
			18:00	18:05	18:15

利用者数の推移(人)

年度 (4月～3月)	東三条駅前 ～県央工業高校	福沢 ～長沢駅前	合計
令和4年度	5,740	547	6,287
令和3年度	6,753	674	7,427
令和2年度	6,346	1,031	7,377
令和元年度	6,077	932	7,009
平成30年度	6,115	1,029	7,144

# 下田MaaS令和5年度実証運行の内容(案)について

## 7 予告チラシ(案)

燕三条駅 ⇄ スノーピーク フィールドスイートスパ

新しい公共交通で  
新しい体験を

**燕三条・下田**  
アウトドアライナー  
**Outdoor Liner**

令和5年10月1日  
運行開始  
(予定)

燕三条・下田 しただ アウトドア ライナー  
**Outdoor Liner**

燕三条駅・東三条駅 ~  
下田・スノーピーク  
への

直通 快速 便

令和5年10月1日から **毎日** 運行開始

45分

令和5年7月22日  
「アウトドアのまち三島」夏祭り

### ○ 運行経路・運行時間

〈下田方面行き〉

	① 便	② 便	③ 便
燕三条駅	12:00	14:45	18:55
東三条駅	12:20	15:05	19:15
ひめさゆりパーク(高岡)	12:32	15:17	19:27
長沢駅跡	12:35	15:20	19:30
スノーピーク フィールドスイートスパ	12:45	15:30	19:40

〈燕三条駅方面行き〉

	① 便	② 便
スノーピーク フィールドスイートスパ	15:45	17:55
長沢駅跡	15:55	18:05
ひめさゆりパーク(高岡)	15:58	18:08
東三条駅	16:10	18:20
燕三条駅	16:30	18:40

### ○ 利用料金

(片道)

燕三条駅	東三条駅	ひめさゆり パーク(高岡)	長沢駅跡	スノーピーク
430円	380円	280円	230円	スノーピーク
520円	470円	280円	230円	スノーピーク
650円	600円	410円	230円	スノーピーク

燕三条駅⇄東三条駅間の移動では下車できません

※燕三条駅⇄東三条駅間の移動は市内循環バス「ぐるっとさん」  
または、JR路線をご利用ください

### ○ Q&A

Q1 スノーピーク利用者以外も利用できますか？

はい、どなたでもご利用いただけます。

Q2 キャッシュレスに対応していますか？

PayPayをご利用いただけます。

Q3 八木ヶ鼻温泉線・高校生通学ライナーバスの定期券は利用できますか？

ご利用いただけます。ただし、定期の区間内でも100円の快速料金ががかかります。

(例) 東三条駅⇄八木ヶ鼻温泉 の定期券を持っている人が東三条駅からスノーピークまで乗車した場合

東三条駅 区間料金100円 → 東三条駅 区間料金100円 → 長沢駅跡 区間料金200円 → スノーピーク 区間料金230円  
150円+100円+230円 合計480円

【お問い合わせ】 スノーピークに関すること：Snow Peak FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS ☎ 0256-46-5650

運行に関すること：路線交通(株)三島営業所 ☎ 0256-38-2215

運行主体：三島市地域公共交通協議会(事務局) 三島市 市民部環境課 ☎ 0256-34-5574 ■ kaniyo@city.sanjo.niigata.jp

# 下田MaaS令和5年度実証運行の内容(案)について

## 8 新幹線時刻表 (参考)

JR東日本 駅の時刻表	
燕三条駅 上越新幹線 越後湯沢・高崎・東京方面 (上り)	
時	平日
6	24 53
7	14 36
8	08 44
9	42 51*
10	40
11	00* 37
12	00* 13* 39
13	01* 16* 16* 35
14	00* 00* 13* 39
15	01* 09* 09* 29
16	14* 29* 29* 34* 42 50*
17	32* 38 44*
18	02 10* 30
19	10 25* 47* 54
20	23* 42
21	02* 52
22	35

列車種別・列車名： と=とき  
 行き先・経由： 無印=東京 長=長岡 湯=越後湯沢 上=上野  
 変更・注意マーク： (斜体)◆=運転日注意  
 (運転日・運転時刻・運転区間等の詳細はホームページをご覧くださいか、駅社員にお尋ねください)

※文承 平成22年138号  
 ※JRデータの内容は、株式会社交通新聞社発行の「JR時刻表」2023年7月号に基づいています。  
 ※この時刻データを無断で転載・複写し、又は紙媒体、電磁媒体その他の媒体に加工することも禁じます。

JR東日本 駅の時刻表	
燕三条駅 上越新幹線 新潟方面 (下り)	
時	平日
7	09 37 58
8	44
9	39
10	09 20* 54
11	17 40*
12	05 20 41*
13	06* 31 38*
14	04* 05* 30 39*
15	03* 30 37*
16	02* 30 37*
17	30 44* 58
18	30
19	27 55
20	47
21	24 37* 39* 50*
22	00* 09* 19 28* 31* 36* 42* 53*
23	06* 08* 24* 40

列車種別・列車名： と=とき  
 行き先・経由： 無印=新潟  
 変更・注意マーク： (斜体)◆=運転日注意 ★=停車駅変更  
 (運転日・運転時刻・運転区間等の詳細はホームページをご覧くださいか、駅社員にお尋ねください)

※文承 平成22年138号  
 ※JRデータの内容は、株式会社交通新聞社発行の「JR時刻表」2023年7月号に基づいています。  
 ※この時刻データを無断で転載・複写し、又は紙媒体、電磁媒体その他の媒体に加工することも禁じます。

# 下田MaaS令和5年度実証運行の内容(案)について

## 8 新幹線時刻表 (参考)

JR東日本 駅の時刻表	
燕三条駅 上越新幹線 越後湯沢・高崎・東京方面 (上り)	
時	土曜・休日
6	24 53
7	14 36
8	08 44
9	42 51*
10	40
11	00* 37
12	13* 39
13	16* 35
14	00* 13* 39
15	09* 29
16	29* 34* 42
17	32* 38
18	02 30
19	10 25* 54
20	23* 42
21	52
22	35

列車種別・列車名： ととき  
 行き先・経由： 無印→東京 湯→越後湯沢  
 変更・注意マーク： (斜体)\*→運転日注意  
 (運転日・運転時刻・運転区間等の詳細はホームページをご覧ください。駅社員にお尋ねください)

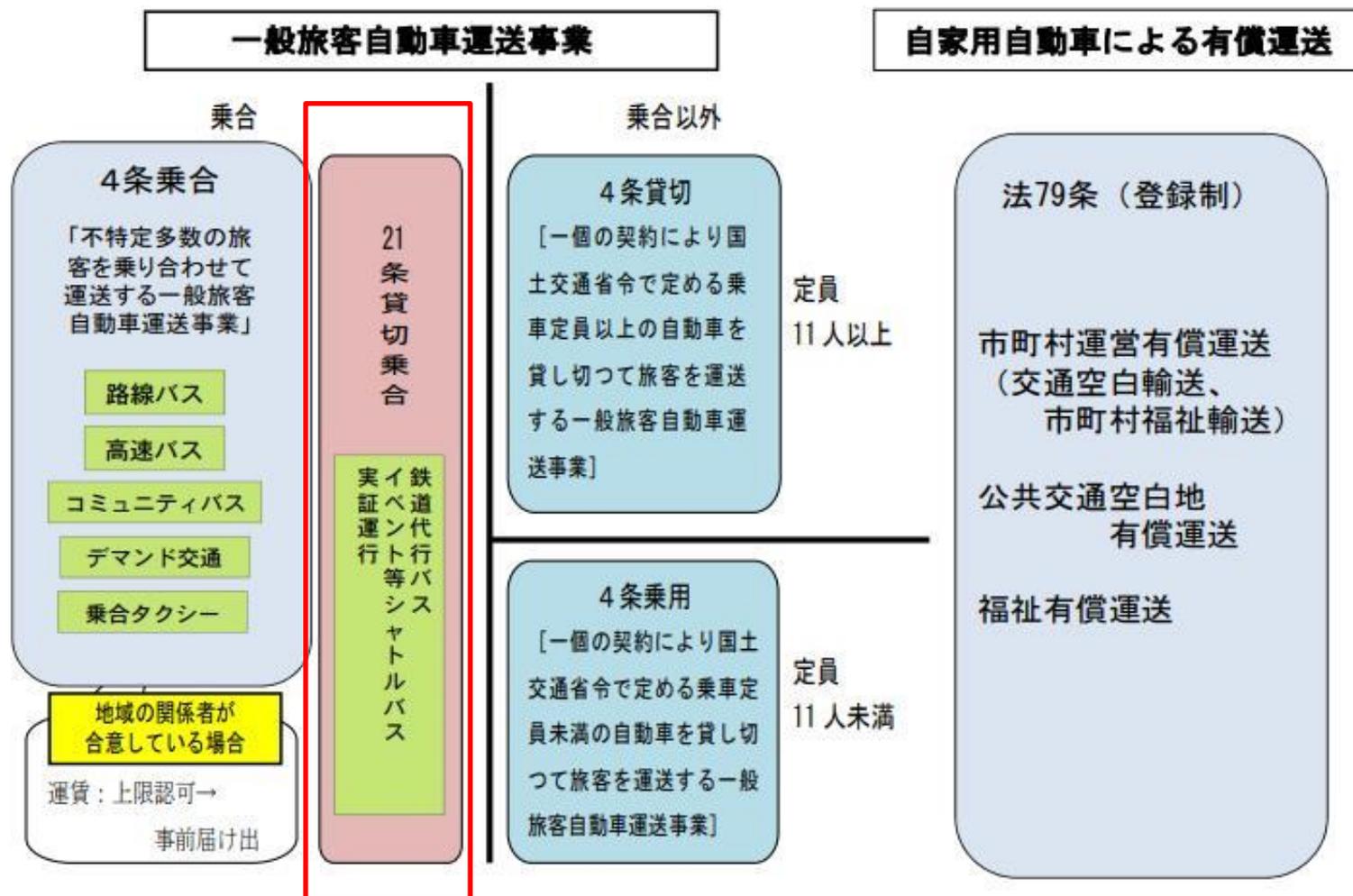
※文示 平成22年138号  
 ※JRデータの内容は、株式会社交通新聞社発行の「JR時刻表」2023年7月号に基づいています。  
 ※この時刻データを無断で転載、複写し、又は紙媒体、電磁媒体その他の媒体に加工することも禁じます。

JR東日本 駅の時刻表	
燕三条駅 上越新幹線 新潟方面 (下り)	
時	土曜・休日
7	37 58
8	05* 44 53*
9	17* 39
10	09 20* 54
11	00* 17 40*
12	05 20 41*
13	06* 31 38*
14	04* 30 35*
15	03* 30 37*
16	02* 30 37*
17	30 44* 58
18	30
19	27 55
20	47
21	24 37*
22	19
23	40

列車種別・列車名： ととき  
 (行き・経由： 無印→新潟  
 変更・注意マーク： (斜体)\*→運転日注意  
 (運転日・運転時刻・運転区間等の詳細はホームページをご覧ください。駅社員にお尋ねください)

※文示 平成22年138号  
 ※JRデータの内容は、株式会社交通新聞社発行の「JR時刻表」2023年7月号に基づいています。  
 ※この時刻データを無断で転載、複写し、又は紙媒体、電磁媒体その他の媒体に加工することも禁じます。

## 2 道路運送法の法体系について②



# 以下、前回までの協議会資料（抜粋）

## — 内 容 —

- |   |                    |            |
|---|--------------------|------------|
| 1 | 下田地区の現状            | P. 10 ~ 13 |
| 2 | アンケート・ヒアリング調査      | P. 14 ~ 17 |
| 3 | 地域交通資源の有効活用        | P. 18      |
| 4 | 三条市地域公共交通に係る今後の方向性 | P. 19      |

## (1) 下田地区の現状：公共交通

- 現状①： **下田地区⇔燕三条駅の直通便が存在しない**（東三条駅終点）  
 ※燕三条ラインが東三条駅⇔燕三条駅、大学間を往復7本/日運行開始しているが、  
 接続が悪い状況にある。
- 現状②：福沢線は**朝1本、夕2本のみ運行で頻度が低い**
- 現状③：デマンド交通によって路線バスが不便な地域はカバーされているが**行政負担額が高額**

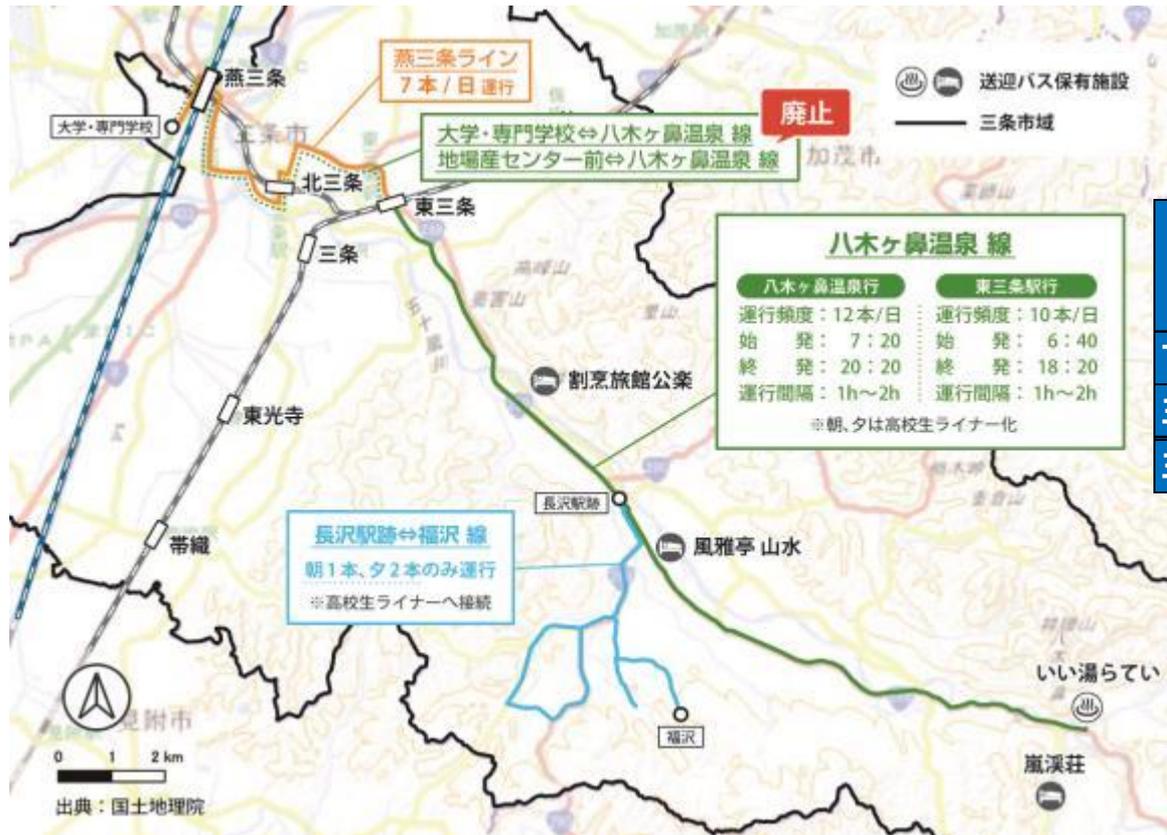


表 下田地区の人口比率とデマンド交通行政負担額比率の比較（R3年度）

	人口	デマンド交通 行政負担額 [千円]
下田地区	8,755	11,342
三条市全体	96,517	35,208
三条市全体比	9%	32%

三条市全体に対する下田地区の人口比と比較し、**デマンド交通の行政負担額の比率が大きい**

## (1) 下田地区の現状：公共交通

- デマンド交通における下田地区からの目的地は、市街地の病院や燕三条駅が多い。
- 路線バスの運行経路とデマンド交通の目的地に重複が見られるため、路線バスの利便性を高めることで、路線バスの利用者が増加する可能性がある。

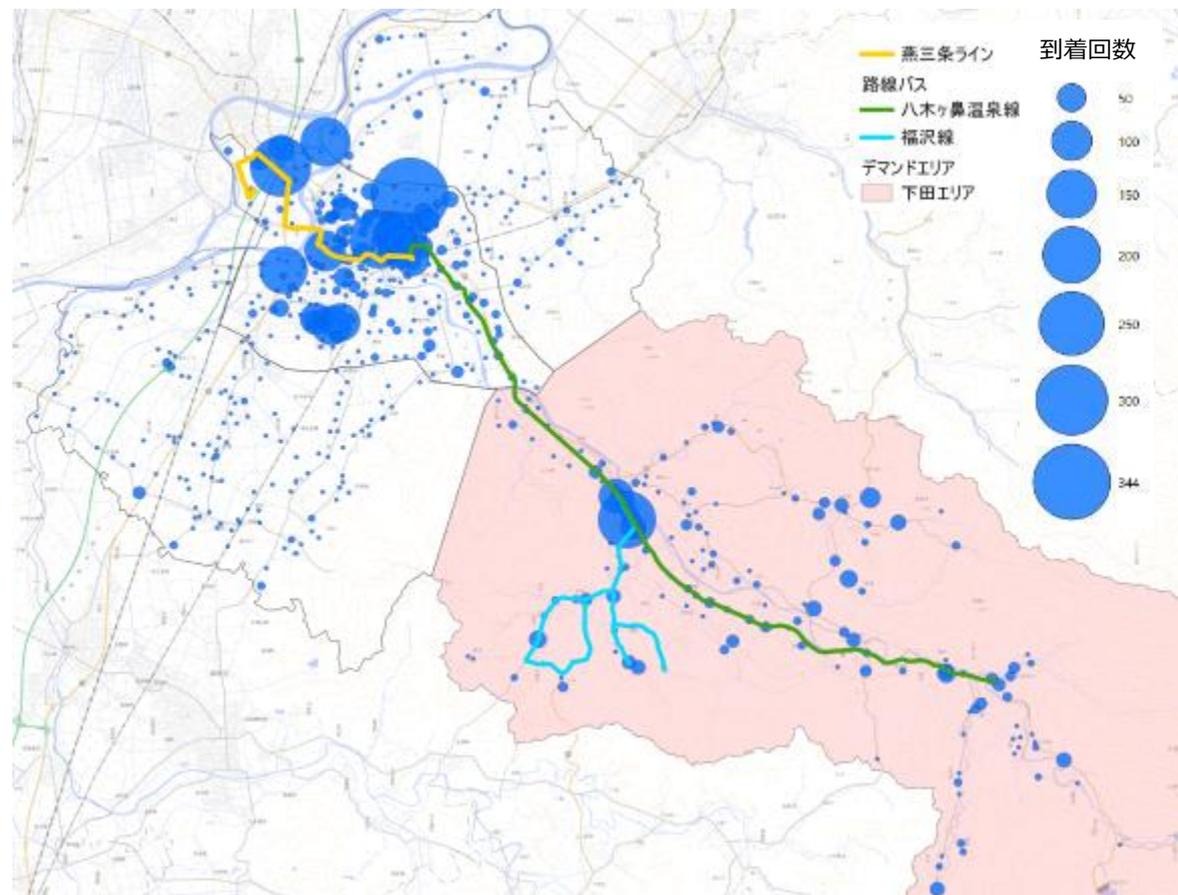
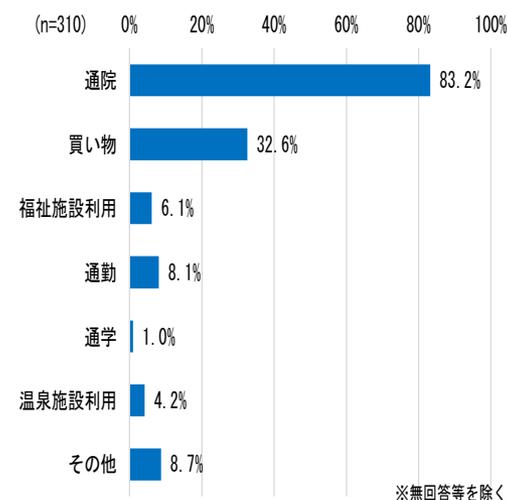


図 R3 4月~R4 4月 下田地区からの目的地分布

表 下田地区からの目的地TOP10

順位	停留所名	利用回数
1	三条総合病院	344
2	燕三条駅	219
3	くまがい歯科医院	200
4	ただ郷クリニック	198
5	富永草野クリニック	152
6	大島病院	148
7	済生会病院	139
8	三之町病院	103
9	あまの整形外科	97
10	三条眼科	89



※無回答を除く

図 デマンド交通の利用目的 (R3年度利用者調査)

## (1) 下田地区の現状：公共交通

- 【燕三条ライン】往路の1、2便は利用者が多い（大学への通学）が、日中は往復共に利用が少ない。
- 【福沢線】朝便の平均利用者数は0.3人/日、夕便は1.1人/日（2便合計）と利用が少ない。
- 【八木ヶ鼻温泉線】10時台～15時台の日中は利用が少ない。R1年度は燕三条駅直通便を運航していたが、頻度が低く、休日の運行をほとんどしていなかった。

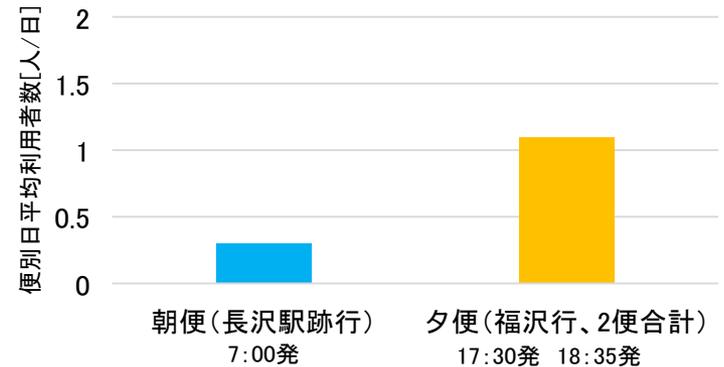
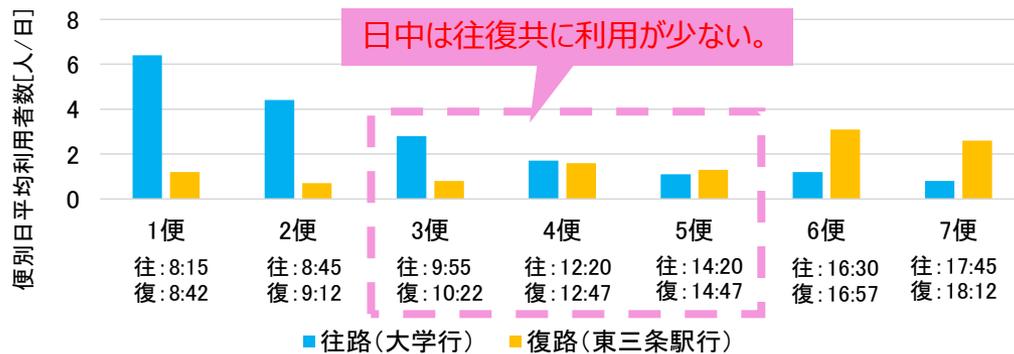


図 R5.1 燕三条ライン 便別日平均利用者数（運行は平日のみ）

図 R5.1 福沢線 便別日平均利用者数（運行は平日のみ）



図 R1.7 (1週間分) 八木ヶ鼻温泉線 便別日平均利用者数（コロナ禍前、平日）



## (ア)下田地区住民アンケート調査結果

- 「**燕三条駅周辺までの直通運行をしてほしい**」が**最も多い**結果となった。バスの直通化と、目的地付近～自宅付近を結ぶデマンド交通の利便性の向上を図る必要がある。
- 選択割合が20%以上の項目は以下のとおり。

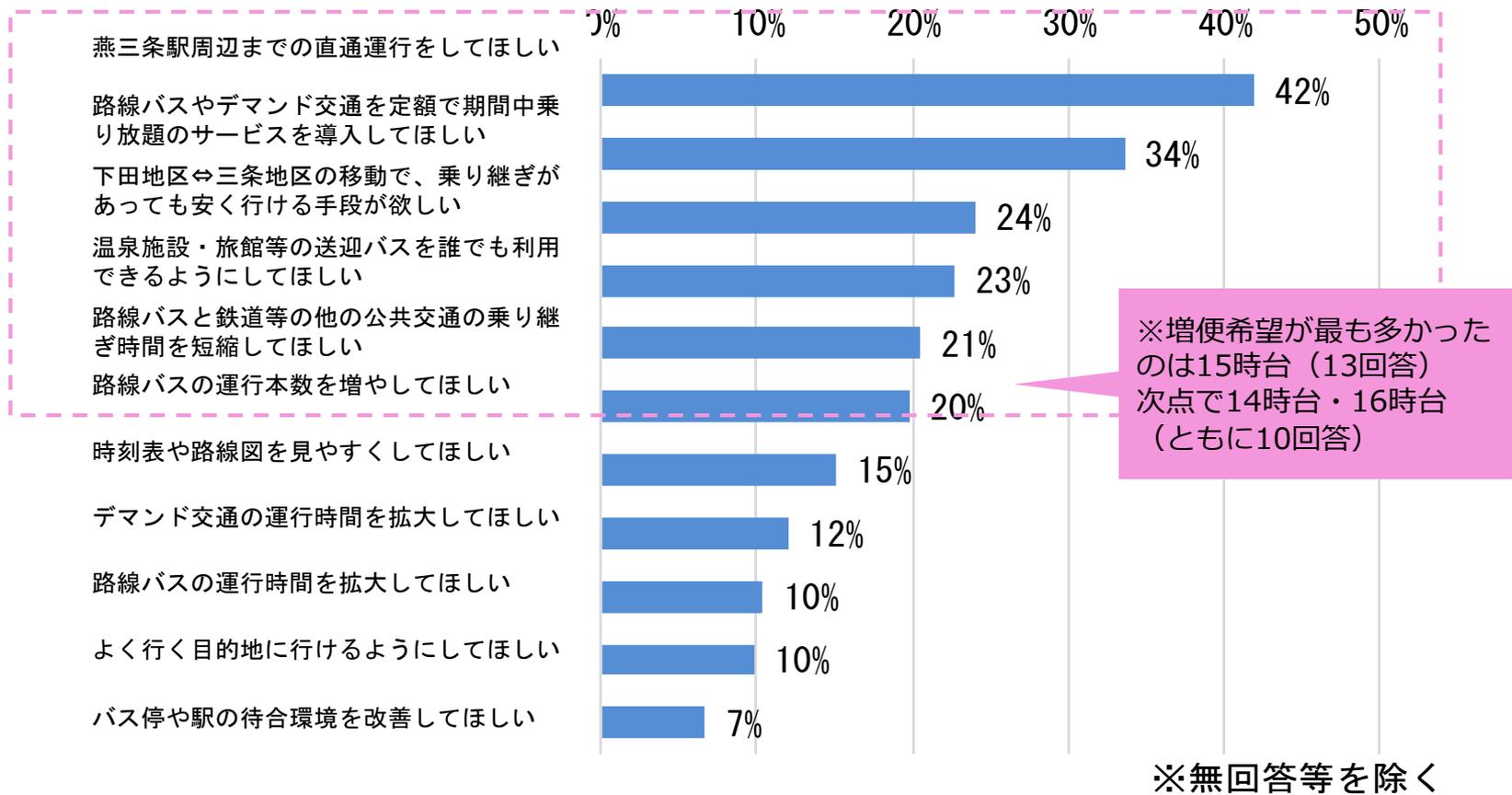


図 下田地区内の移動環境の改善要望（3つまで選択）

## (イ)観光客(スノーピーク利用者)アンケート調査結果

- 回答者のうち、居住地が「三条市内」の割合は17%であり、**ほとんどが市外からの利用者**であることが分かる。
- 移動手段は「自家用車(マイカー)」が88%**と、大半を占めている。一部レンタカーやタクシーの利用も見られた。

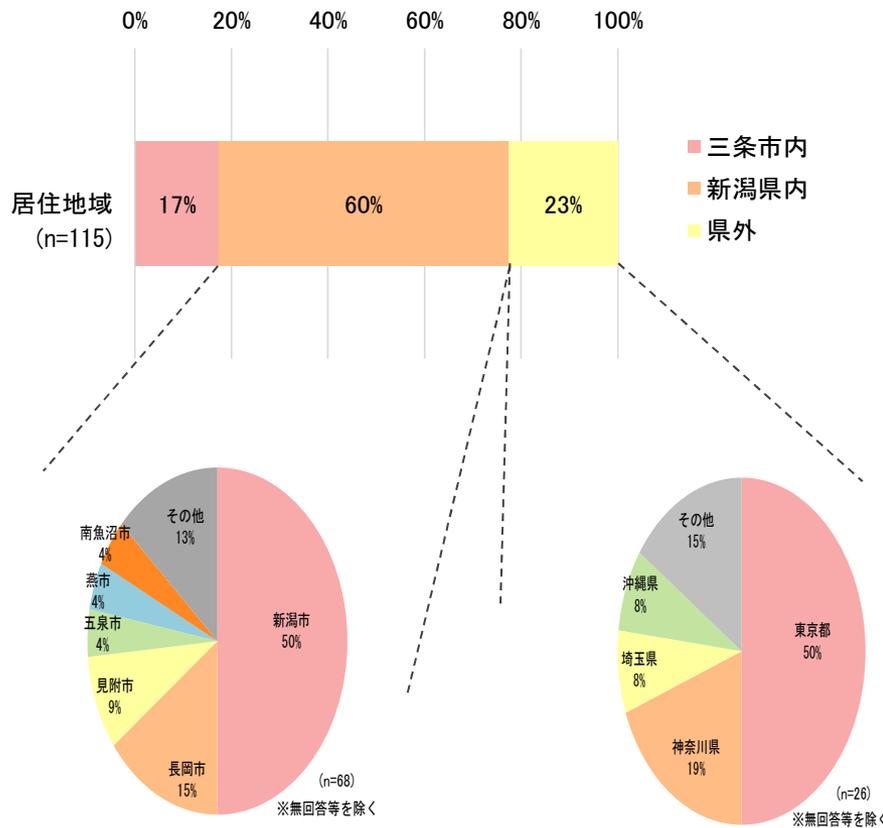


図 回答者の居住地

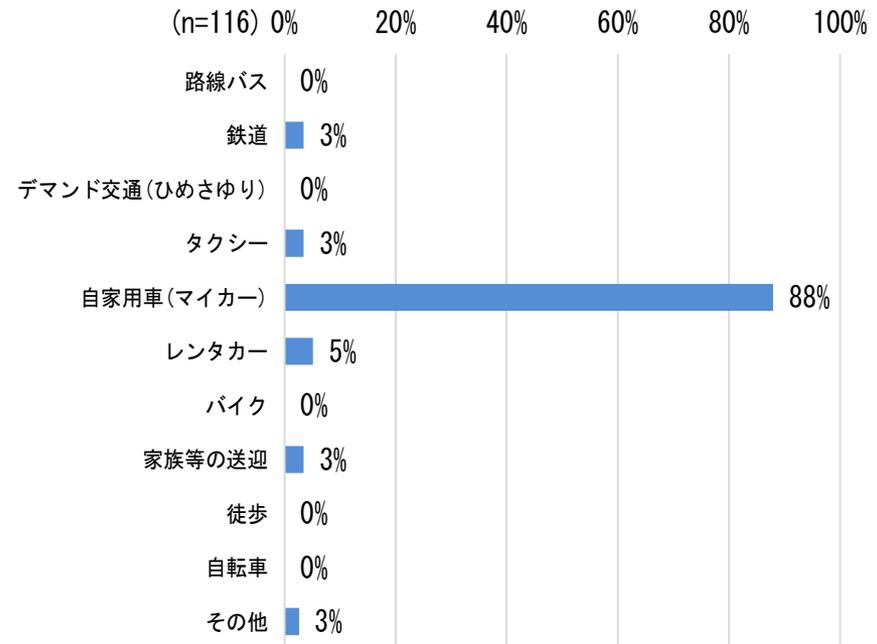


図 移動手段

## (イ)観光客(スノーピーク利用者)アンケート調査結果

- 施設までの送迎バスがあった場合に利用したいかという設問では、「利用したい」「条件によっては利用したい」という回答が過半数以上の56%ととなった。
- 理由としては、「飲酒ができる」が54%、「冬期の運転が不安」が46%となったことから送迎サービスが存在しないために現状は自家用車で訪問している方が多いと想定される。

<アンケート時に提示した送迎サービスの前提条件>

- 地域の公共交通として運行されるものであり、地域住民等の施設利用者以外の方も乗車する
- 燕三条駅周辺とこの施設を結ぶ送迎サービス
- ルート上に停留所が設けられる他、直行シャトルではない(途中にも乗降ポイントがある)

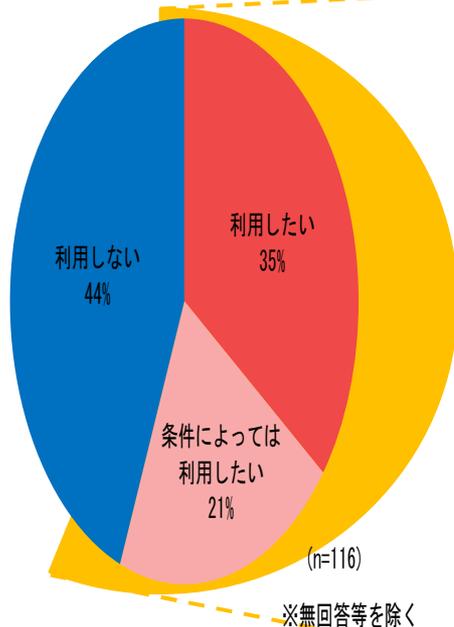


図 この施設までの送迎サービスがあった場合は利用したいか

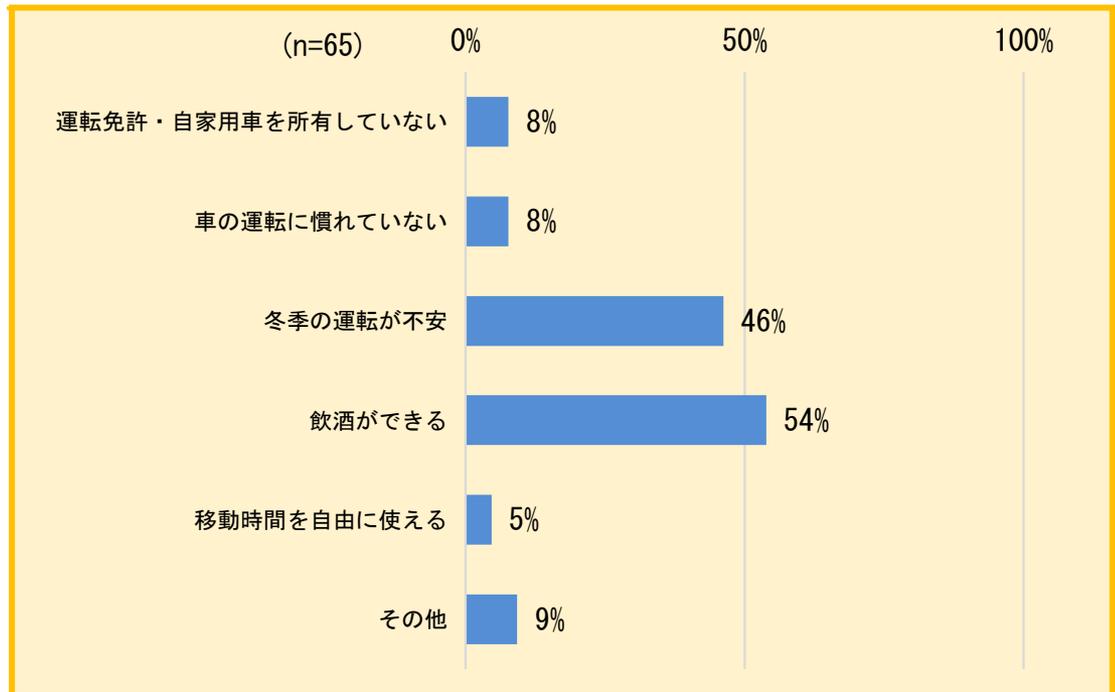


図 「利用したい」「条件によっては利用したい」と答えた理由 16

## (イ)観光客(スノーピーク利用者)アンケート調査結果

### ■各サービスレベルで希望する水準

- 【運行頻度】「1時間に1本程度」が51%と最も多い結果となった。
- 【運賃】「有料でも良い」と回答した人は63%となり、半数以上が送迎サービスに対して運賃を支払う意思があることが確認できた。なお、希望の運賃の平均価格は片道627円（n=43）となった。
- 【他の交通手段との連携】「JR在来線」が47%、「新幹線」が31%と鉄道との連携を望む意見が多く、市外からの来訪者が多いためだと考えられる。

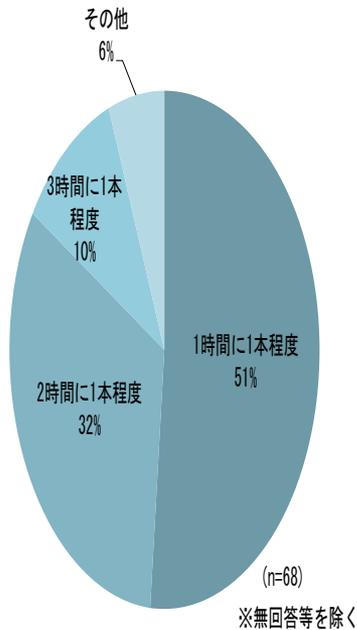


図1 どの程度の運行頻度があると良いか

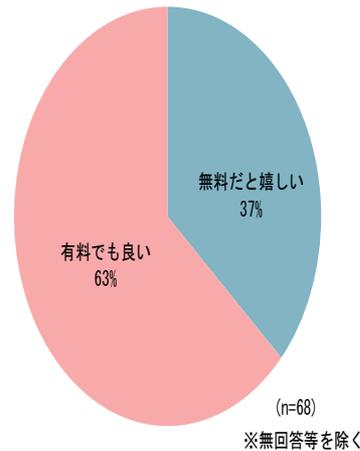


図2 運賃の希望

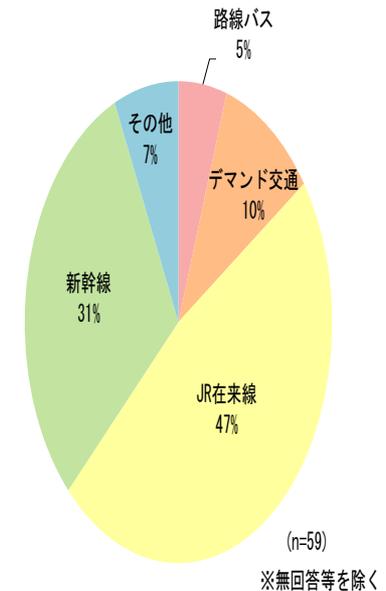


図3 どのような交通手段で使えると便利

# 3 地域交通資源の有効活用

## 事業：送迎バスを活用したMaaS実証

○下田地域における観光客及び市民の移動手段を多様化するため、大学・専門学校～燕三条駅～東三条駅～スノーピーク間を結ぶ送迎バスを活用したMaaSに関する実証運行を行う。

※ MaaS（マース：Mobility as a Service）：地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで検索・予約・決済等を一括で行うサービス

### ● 地域資源の有効活用に関するスノーピークとのMaaS実証運行（想定実証期間：6か月程度）

#### 運行体系イメージ



#### 各主体のメリット

利用者	行政	事業者
<b>① 下田地域の移動利便性の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存交通資源を活用した燕三条⇄下田地区間の運行頻度向上により、下田地区の移動利便性を向上させることが可能</li> </ul>	<b>① 燕三条⇄東三条⇄下田地区間の公共交通運行頻度向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存交通資源を活用した燕三条⇄下田地区間のシームレスな運行により、下田地区の運行頻度を向上させることが可能</li> </ul>	<b>① 来訪者（観光客）の増加</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>下田地区へのアクセシビリティが向上することで、各施設への来訪者が増加</li> <li>来訪者の公共交通利用が増加し、既存の公共交通利用も増加</li> </ul>
<b>② 燕三条駅へのアクセシビリティ向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>燕三条駅のほか、今後、病院や商業施設のオープンが予定されている駅周辺へのアクセシビリティが向上</li> </ul>	<b>② 運行委託費の増額を抑えつつサービスレベルアップ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存交通資源を活用した効率的な運行と費用対効果に応じた協力金等により、運行委託費の増額を抑えつつサービスレベルアップ</li> </ul>	<b>② 協議会からの委託事業で安定的な収入を得ることができる（交通事業者）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数によらず固定の委託費を得ることができるため、安定的な収入が得られる</li> </ul>
<b>③ 定額1チケットで市内の様々な交通モードを利用可能に</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス、ぐるっとさん、デマンド交通などの様々なモードを1つの定額チケットで乗車可能に（一部モードには上限を設けることを想定）</li> </ul>	<b>③ 行政負担額の減少</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗継環境整備や1チケット化（定額チケット）を行い、利用環境を整えることで、モードの組み合わせを増やし、行政負担額を減少させることができる</li> </ul>	<b>③ 送迎バス運行にかかるコストの減少（観光事業者）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通として運行することで補助金の活用も可能</li> <li>直接運行事業者に委託するよりも安価なコストで運行が可能（運行イメージ案は下図参照）</li> </ul>

#### <運行イメージ案>



新潟県の「地域交通資源の有効活用に関する調査事業」（令和4年度）を活用

